

## 疾病预防控制局

### 2019年03月度全国法定伝染病情報

国家卫生健康委 www.nhc.gov.cn 2019-04-24

来源: 疾病预防控制局

2019年03月(2019年03月01日00:00~03月31日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は879,800例(宮本注:前月は715,176例;164,624人増に転)、死亡者数は1,859例(前月は1,578例;281人増に転)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、発症・死亡ともにゼロであった。

B(乙)類伝染病はSARS、ポリオ、ジフテリア、H7N9型鳥インフルエンザ及びヒト感染高病原性鳥インフルエンザで発症・死亡なし以外、残21種については、発症325,365例(前月は243,083例:82,282人増に転)、死亡1,827例(前月は1,486例:341人増に転)が報告されている。報告されている発病データの病種ワースト5は、ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病とエイズ(5位にエイズが入り、細菌性及びアメーバ性赤痢がランク外へ!)で、B類伝染病報告総数の94%を占めていた。

同期、C(丙)類伝染病では、フィリア症では発症・死亡ともにゼロだったが、その他10種の伝染病では、発症数は554,435例(前月は472,093例で82,342人増に転)、死亡は32例(前月は92例で60人減)であった。発症データの3位までの病種は、インフルエンザ、その他感染性下痢と手足口病(前月と同病種同順位)であり、C(丙)類伝染病報告総数の95%を占めていた。

#### (H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について:

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりましたが、年度報告では発症589人、死亡259人と、それぞれに57人、10人の発症者・死亡者が消し去られていました。(こういう場合、WHOへの通報はどうするのでしょうか。恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。)
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ていたが、第6の波と呼べるものがまだ表れていません。2月以後発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。 3月も発症・死亡ともに『ゼロ』でした。
3. 2018年に入ってからは、この1月月報上の1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月は1人発症1人死亡と発表。2月11日に中山市での患者発生が報じられている)しているのですが3月の死亡者1人というのがこの患者の死亡を表しているとするれば、1~5月までの累計で2名が発症、2名が死亡のままですが、5月に、『広東省本年初の患者が回復、まもなく退院(<https://wp.me/p66EIr-2RJ>)』という報道があったため、これが中山市の患者であることは明白、つまり、2名の本年死亡者中の「1名」は、確実に昨2017年の患者であることがわかりました。
4. 他方で、4月5日に内蒙古自治区で一名の患者が13カ月ぶりに発生したという発表がなされており、この患者については、来月(といってももう4月も終わりですが...)発表の4月度月報で報じられる見込み。
5. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあり、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれませんが。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市場は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し「楽観し過ぎ」かもしれません。
6. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬~春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
7. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けているようですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省CDCは単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
8. 1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1625号患者(06月15日発表)まで追いかけることができました(7月に中側からFAOに発表された12人と、12月19日にFAOが発表した累計患者数“1621人”との差20人、それに2月28日のFAO“発表1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができずにいます)。WHOへの報告主体である衛計委とFAOへの報告主体農業部の間でも同国内なのに整合性もなく、また、2017年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然57人減じている(死者数も10人減!)事

実がありますが、衛計委が WHO に「この患者とこの患者は誤報でした」という通知もしていない??? FluTrackers によると、『必ずしもすべての数字が WHO に報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackers は、NHFPC や省・市の HFPC や HFPB、それに香港 CHP の正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局から FAO への通報、これに基づく FAO の発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っている B 型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれませんが。患者が少なかったことから情報提供も僅か、それでも弊所から FluTrackers への情報提供数は、**2017 年 1 月以来 433 本**になりました (**as of Apr. 26**)。

9. 2014 年 1 月に浙江省 HFPC が発表した『**確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表**。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『**2014-01-27 浙江省の H7N9 鳥フル患者死亡者数発表に関して** <https://wp.me/p66EIr-2lP>』をご参照ください。
10. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、増えています。2017 年 3 月には湖南省永州市、5 月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6 月に入ってから陝西省榆林市、内モンゴルフフホト市、内モンゴポグト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、8 月には安徽省滁州市鳥間と 9 件が発生しています。
11. 2018 年に入り、3 月 5 日には陝西省銅川市王益区で発生、4 月 5 日には山西省臨汾市、18 日には寧夏回族自治区同心県での発生、5 月 9 日には寧夏回族自治区固原市でのアウトブレイクが農業農村部から発表されましたが、6 月 1 日には、遼寧省瀋陽市で発生(H7N9 に関する PPT に追記しています)。これで 2017 年は 9 件、2018 年は 5 件、合計 14 件目の集団発生となります。一人もヒト感染者が見つからない寧夏回族自治区における鳥間の集団発生が 2 件続けて出ていることが気がかりです。
12. 2019 年 3 月に、遼寧省錦州市で久しぶりの集団発生が報じられ、これで 2017 年から通算 15 件目の集団発生が出た形になりますが、どうも間隔があきすぎており、H7N9 については、本当に消えているのか、消去されているのか、、、良く判らなくなってきました。
13. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようです)が、今後の動向に注目必要ですね。
14. 但し、『**2018-04-03 対家禽 H7N9 インフル強制ワクチンの接種実施 河南省**』で書かれているように、H7N9 ワクチンを活禽に強制接種されれば、(鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして)鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれませんが。これもまた要ウォッチ事項だねと FluTrackers と話をしています。

(⇒See [20190424 中国衛生部発表の全国法定伝染病発症死亡統計](#))

<http://www.nhc.gov.cn/jkj/s3578/201904/049b55dc162746d2a09bd8a453bf95ca.shtml>

.....  
**National legal infectious disease epidemic situation in March 2019**

China National Health Commission [www.nhc.gov.cn](http://www.nhc.gov.cn) 2019-04-24 Source: National CDC

In March 2019 (0:00 on March 1, 2019 to 24:00 on March 31), the country (excluding Hong Kong, Macao Special Administrative Region and Taiwan, the same hereinafter) reported a total of 879,800 legal infectious diseases and 1,859 deaths.

Among them, there is no report of morbidity and death of Class A infectious diseases.

Though there was no report of incidence and morbidity in SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome), diphtheria, poliomyelitis, human infection with H7N9 avian influenza and human infection with highly pathogenic avian influenza, the remaining 21 kinds of Class B infectious diseases reported a total of 325,365 cases and 1,827 deaths.

The top five reported cases were viral hepatitis, tuberculosis, syphilis, gonorrhoea and AIDS, accounting for 94% of the total number of reported cases of Class B infectious diseases.

In the same period, there was no incidence and morbidity report of filariasis in Class C infectious diseases, and 554435 cases and 32 deaths were reported in the remaining 10 kinds of Class C infectious diseases.

The top three reported cases were influenza, other infectious diarrhea and hand, foot and mouth disease, accounting for 95% of the total number of reported cases of Class C infectious diseases.

..... 以下是中国語原文 .....

## 2019年03月全国法定传染病疫情概况

国家卫生健康委 [www.nhc.gov.cn](http://www.nhc.gov.cn) 2019-04-24 来源: 疾病预防控制局

2019年3月(2019年3月1日0时至3月31日24时),全国(不含香港、澳门特别行政区和台湾地区,下同)共报告法定传染病879800例,死亡1859人。其中,甲类传染病无发病、死亡报告。乙类传染病中传染性非典型肺炎、白喉、脊髓灰质炎、人感染H7N9禽流感和人感染高致病性禽流感无发病、死亡报告,其余21种乙类传染病共报告发病325365例,死亡1827人。报告发病数居前5位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、淋病以及艾滋病,占乙类传染病报告病例总数的94%。

同期,丙类传染病中丝虫病无发病、死亡报告,其余10种丙类传染病共报告发病554435例,死亡32人。报告发病数居前3位的病种依次为流行性感冒、其他感染性腹泻病和手足口病,占丙类传染病报告病例总数的95%。

附件:2019年03月全国法定传染病发病、死亡统计表

20190424B 中国法定传染病月报(3月)